



みんなで作るバリアフリーマップ

NPO 法人 PADM* 遠位型ミオパチー患者会

投票はココをクリック!

PADMは、* Googleインパクトチャレンジのファイナリスト10団体に選ばれました。

プロジェクトの概要

世界中の車いすユーザーが訪問したエリアのバリアフリー情報を、ユーザー同士で共創するプロジェクト。
スマートフォンなどから得られる映像・GPSや路面凹凸データなどを、バリアフリー情報として手軽に投稿・共有できるアプリを開発します。それらを、サイト上で相互に閲覧・評価・依頼できる仕組みを構築します。



スマホを持って・撮影して・アップロード



行きたい場所をリクエスト ⇄ 行った場所の情報提供



地球上すべてのバリアフリー情報を検索可能に



* Google インパクトチャレンジ とは? Google 公式 サイト より抜粋

「Google インパクトチャレンジは、様々なテクノロジーの活用を通じ、社会問題の解決にチャレンジする非営利団体を支援するプログラムです。Google では本プログラムを、インド、ブラジル、英国、米国、オーストラリアで開催してきましたが、ついに日本でも開催することになりました。」

こんなときに役立ちます

あそこに行きたい！
でも不安。。。

バリアフリー情報は行ってみたいとわからないことがたくさん。実際に誰かに行ってもらい、公開されているバリアフリー情報だけではわからない情報を事前に知ることができません。情報がなければリクエストもできません。

こんな場所も
車いすで行けたよ！

街中のちょっといい感じの路地。観光マップにも載っていません。意外にも車いすで行けたなら、その情報をアップしてください。他の車いすユーザーの行動範囲が広がります。あなたの良い評価は、あなたが知りたい情報をもろうために使えます。

旅が趣味です！
お手伝いできますか？

車いすユーザーではない方の投稿は大変貴重です。バリアフリーを意識して旅をすると、いつもとはまたちょっと味わいが変わります。そして、車いすユーザーのリクエストにも応えやすくなり、みなさんにも喜ばれることでしょうか。あなたの旅が誰かのためになります。

これまでの取り組み (主なプロジェクトメンバーが実施しているもの)



「車椅子ユーザーだって、外出したい！」「もっとバリアフリーが浸透して欲しい！」「街で見掛ける車椅子ユーザーが増えたら車椅子への理解が進むんじゃないかな？」そんな夢を叶えるために、YouTubeに車椅子スポットを紹介する「車椅子ウォーカー」を開設。これまでに、国内外74本の動画を公開。



Patients Association for Distal Myopathies

遠位型ミオパチーの指定難病や製薬に向けた“将来”への希望となる活動。累計204万筆の署名活動に加え、障害者として日常生活を送る上で“今”必要となる福祉機器の情報及びバリアフリーに関する活動をしている。その結果もあり、平成27年1月より指定難病として登録されることとなった。

ポランの広場 | 福祉情報工学と市民活動

重度障害者のコミュニケーション支援技術研究とその実践

ICT (情報通信技術) による重度障害者のコミュニケーション支援を中心とした研究や活動の紹介。実生活に役立つ具体的な工夫や技術について解説。特に、ALS (筋萎縮性側索硬化症) を中心とした意思伝達装置の利用についての情報をまとめている。

OriHime

コミュニケーションロボット オリヒメ



コミュニケーションロボット「OriHime」の開発と普及促進。OriHimeとは、孤独を感じる人が自分の分身として、親しい人と一緒にその場にいるかのような感じ、場を共有できるロボット。独り暮らしや入院など、距離や身体的問題で家族や友人たちと会えなくても、“日常への参加”を可能にしている。

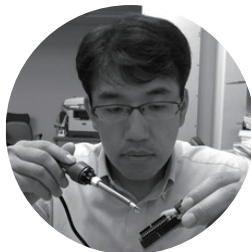
主なプロジェクトメンバー



織田友理子 (代表)

遠位型ミオパチー患者会代表代行
車椅子ウォーカー代表

2000年推定発症、2002年「遠位型ミオパチー」と診断を受ける。一児の母。2008年患者会設立。2010年秋デンマーク留学。趣味は国内外の公共交通を含めたバリアフリースポット探索。



伊藤史人 (CTO: 技術責任者)

島根大学総合理工学研究科助教
博士 (ソフトウェア情報学)

専門は福祉情報工学。重度障害者のICTを使ったコミュニケーション支援技術の研究や普及活動を実施。近年、生体情報を活用した意思伝達技術をはじめ、ゲームを取り入れたリハビリテーション技術に取り組む。



吉藤オリイ (CKO: 知識責任者)

オリイ研究所所長

小学5年~中学2年まで不登校。2005年、電動車椅子の新機構の発明によりISEF Grand Award 3thを受賞。2009年から対孤独用分身ロボットの研究に取り組み、早大産学連携室最年少メンバーなどを経て、株式会社オリイ研究所設立。



投票はココをクリック！

皆様の力を必要としています！

PADMへの1票をお願いします！！！！

** <https://impactchallenge.withgoogle.com/japan/charity/PADM>

